

小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	中期目標を上回っている	目標の達成状況が100%超
III	概ね中期目標どおり達成している	目標の達成状況が90%超100%以下
II	中期目標を下回っている	目標の達成状況が60%超90%以下
I	中期目標を大幅に下回っている	目標の達成状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		業務実績等	自己評価	論点	検証(案)																								
3-1-1	<p>法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取組むことで、県内医療水準の向上に努めること。</p> <p>特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。</p> <p>また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。</p> <p>さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。</p>	<p>* 県内医療水準の向上に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <p>より質の高い医療を提供するためには、高度先進医療機器の整備が必要であり、主要な高額医療機器の保有状況及び更新時期等について、基本的な計画を作成するとともに、院内委員会等で確認し整備している。加えて、当センターの診療方針、財務状況等経営的な視点も考慮しつつ、新規の高度先進医療機器についても整備を進めている。</p> <p>また、当センターの医療を支える医師・看護師・コメディカル等の優秀な医療スタッフを確保するため、医師補助・看護補助体制を強化した長時間勤務の改善や、地方独立行政法人化のメリットを活かした柔軟な雇用制度に積極的に取り組み、必要な職員の採用を行っている。併せて、女性職員の働きやすい職場づくりに向け「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」での活動や院内保育の充実など環境整備を実施している。</p> <p>職員の質の向上については、国内の大学病院等の先進病院や米国・ドイツ・カナダへの医師の研修派遣者数を増加し、医療技術の向上に努めたほか、国内外の学会発表・参加をはじめ各種職種における資格取得や研修・セミナーへの参加を積極的に支援している。</p> <p>○ 平成22年度以降に更新・整備した代表的な高度先進医療機器の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>導入年度</th> <th>機器名</th> <th>26年度末稼働件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">22</td> <td>3次元マッピングシステム・アブレーションシステム</td> <td>168件</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ装置</td> <td>1,498件</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>1,833件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">23</td> <td>MRI装置のアップグレード</td> <td>5,147件</td> </tr> <tr> <td>デジタル式乳房用X線撮像装置</td> <td>4,740件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>超音波診断装置</td> <td>1,842件</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)</td> <td>88件</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>X線CT装置</td> <td>26,316件</td> </tr> </tbody> </table>	導入年度	機器名	26年度末稼働件数	22	3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	168件	ガンマカメラ装置	1,498件	X線TV装置	1,833件	23	MRI装置のアップグレード	5,147件	デジタル式乳房用X線撮像装置	4,740件		超音波診断装置	1,842件	24	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	88件	25	X線CT装置	26,316件	IV		<p>コメディカルの研修派遣数が大幅に増加しているなど、積極的に人材育成に取り組んでいることは評価できる。</p>
導入年度	機器名	26年度末稼働件数																											
22	3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	168件																											
	ガンマカメラ装置	1,498件																											
	X線TV装置	1,833件																											
23	MRI装置のアップグレード	5,147件																											
	デジタル式乳房用X線撮像装置	4,740件																											
	超音波診断装置	1,842件																											
24	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	88件																											
25	X線CT装置	26,316件																											

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																															
		業務実績等	自己評価	論 点	検 証 (案)																																																														
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>861件</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>手術用顕微鏡</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>循環器画像保存システム</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>1件</td> </tr> </table>		エキシマレーザー血管形成装置	22件		ハイブリッド手術システム	861件	26	手術用顕微鏡	8件		循環器画像保存システム	1件		内視鏡ファイリングシステム	1件																																																		
	エキシマレーザー血管形成装置	22件																																																																	
	ハイブリッド手術システム	861件																																																																	
26	手術用顕微鏡	8件																																																																	
	循環器画像保存システム	1件																																																																	
	内視鏡ファイリングシステム	1件																																																																	
		<p>○ 医師、看護師、コメディカルの職員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度初</th> <th>22年度初</th> <th>23年度初</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>166人</td> <td>170人</td> <td>187人</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(28人)</td> <td>(30人)</td> <td>(35人)</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>549人</td> <td>560人</td> <td>582人</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(48人)</td> <td>(57人)</td> <td>(61人)</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>114人</td> <td>136人</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(19人)</td> <td>(15人)</td> <td>(15人)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度初</th> <th>25年度初</th> <th>26年度初</th> <th>増減(21→26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>194人</td> <td>197人</td> <td>202人</td> <td>+36人</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(43人)</td> <td>(40人)</td> <td>(40人)</td> <td>(+12人)</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>600人</td> <td>643人</td> <td>658人</td> <td>+109人</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(70人)</td> <td>(72人)</td> <td>(68人)</td> <td>(+20人)</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>168人</td> <td>173人</td> <td>192人</td> <td>+78人</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(14人)</td> <td>(17人)</td> <td>(20人)</td> <td>(+1人)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	21年度初	22年度初	23年度初	医師	166人	170人	187人	(うち非常勤)	(28人)	(30人)	(35人)	看護師・助産師	549人	560人	582人	(うち非常勤)	(48人)	(57人)	(61人)	コメディカル	114人	136人	148人	(うち非常勤)	(19人)	(15人)	(15人)		24年度初	25年度初	26年度初	増減(21→26)	医師	194人	197人	202人	+36人	(うち非常勤)	(43人)	(40人)	(40人)	(+12人)	看護師・助産師	600人	643人	658人	+109人	(うち非常勤)	(70人)	(72人)	(68人)	(+20人)	コメディカル	168人	173人	192人	+78人	(うち非常勤)	(14人)	(17人)	(20人)	(+1人)		
項目	21年度初	22年度初	23年度初																																																																
医師	166人	170人	187人																																																																
(うち非常勤)	(28人)	(30人)	(35人)																																																																
看護師・助産師	549人	560人	582人																																																																
(うち非常勤)	(48人)	(57人)	(61人)																																																																
コメディカル	114人	136人	148人																																																																
(うち非常勤)	(19人)	(15人)	(15人)																																																																
	24年度初	25年度初	26年度初	増減(21→26)																																																															
医師	194人	197人	202人	+36人																																																															
(うち非常勤)	(43人)	(40人)	(40人)	(+12人)																																																															
看護師・助産師	600人	643人	658人	+109人																																																															
(うち非常勤)	(70人)	(72人)	(68人)	(+20人)																																																															
コメディカル	168人	173人	192人	+78人																																																															
(うち非常勤)	(14人)	(17人)	(20人)	(+1人)																																																															
		<p>○ 医師の研修派遣数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(22→26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>9人</td> <td>4人</td> <td>+3人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>6人</td> <td>8人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>7人</td> <td>+1人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)	派遣	1人	3人	5人	9人	4人	+3人	受入	6人	8人	6人	6人	7人	+1人																																												
項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)																																																													
派遣	1人	3人	5人	9人	4人	+3人																																																													
受入	6人	8人	6人	6人	7人	+1人																																																													
		<p>○ 認定看護師・専門看護師数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度末</th> <th>22年度末</th> <th>23年度末</th> <th>24年度末</th> <th>25年度末</th> <th>26年度末</th> <th>増減(21→26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数</td> <td>7人</td> <td>9人</td> <td>11人</td> <td>12人</td> <td>15人</td> <td>18人</td> <td>+11人</td> </tr> <tr> <td>専門看護師数</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>+3人</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>+1人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減(21→26)	認定看護師数	7人	9人	11人	12人	15人	18人	+11人	専門看護師数	0人	0人	2人	3人	3人	3人	+3人	認定看護管理者	0人	0人	0人	0人	1人	1人	+1人																																	
項目	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減(21→26)																																																												
認定看護師数	7人	9人	11人	12人	15人	18人	+11人																																																												
専門看護師数	0人	0人	2人	3人	3人	3人	+3人																																																												
認定看護管理者	0人	0人	0人	0人	1人	1人	+1人																																																												
		<p>○ コメディカルの研修派遣数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(22→26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>224人</td> <td>343人</td> <td>544人</td> <td>438人</td> <td>510人</td> <td>+286人</td> </tr> </tbody> </table>	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)	224人	343人	544人	438人	510人	+286人																																																					
22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)																																																														
224人	343人	544人	438人	510人	+286人																																																														
		<p>* 科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 ダ・ヴィンチによるロボット手術やハイブリッド手術などの先進的医療を推進し、各診療科における各種疾患診療ガイドラインに基づく標準的医療を実践する上で、現在</p>																																																																	

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																												
		業務実績等	自己評価	論点	検証(案)																																																												
		<p>使用しているクリニカルパスの適宜見直しを図っている。 また、定期的にクリニカルパス大会や研修会を開催し、クリニカルパスの新規登録を図るとともに、適用率の向上に努めている。</p> <p>○ クリニカルパス種類数・使用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (22-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>304件</td> <td>303件</td> <td>305件</td> <td>287件</td> <td>305件</td> <td>+1件</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>8,337件</td> <td>8,363件</td> <td>8,929件</td> <td>9,045件</td> <td>10,018件</td> <td>+1,681件</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>60.0%</td> <td>60.6%</td> <td>60.8%</td> <td>61.3%</td> <td>65.4%</td> <td>+5.4P</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 医療安全対策に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <p>医療安全対策として、必要に応じてマニュアルの見直しを行い、その運用状況を調査した上で、遵守状況を把握し、マニュアルの運用遵守を徹底している。 また、インシデント・アクシデント報告を収集・分析し、医療案全部や医療安全管理委員会で検討し、重大な事故につながらないように再発防止策等を全職員に通知し、情報共有している。 医療安全意識醸成のために、全職員を対象とした医療安全研修会を月1回以上開催し、全職員が最低2回以上参加している。 院内感染防止対策として、感染制御チーム(ICT)が中心となり、院内感染防止マニュアルを改訂し、環境面における改善指導を行うとともに「感染制御システム」により、感染状況や臨床経過、治療状況等を多面的かつ迅速的に把握し、効果的な感染制御できる体制を目指している。 また、院内感染発生時における ICT 行動基準を作成し、院長への迅速な報告及び関係機関への報告・相談・指導を徹底し、対応することとしている。 加えて、平成 26 年 1 月から感染症専門医を採用し、院内感染防止に努めるとともに、平成 27 年度完成を目標として NICU の改築を計画している。</p> <p>○ インシデント・アクシデント件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,770件</td> <td>2,043件</td> <td>2,326件</td> <td>2,533件</td> <td>2,815件</td> <td>2,990件</td> <td>+1,220件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>127件</td> <td>153件</td> <td>58件</td> <td>57件</td> <td>62件</td> <td>54件</td> <td>▲73件</td> </tr> <tr> <td>総数</td> <td>1,897件</td> <td>2,196件</td> <td>2,384件</td> <td>2,590件</td> <td>2,877件</td> <td>3,044件</td> <td>+1,147件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成 23 年度からアクシデントであったレベル 3 がレベル 3a(インシデント)とレベル 3b(アクシデント)に分割</p>	項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (22-26)	種類数	304件	303件	305件	287件	305件	+1件	使用数	8,337件	8,363件	8,929件	9,045件	10,018件	+1,681件	適用率	60.0%	60.6%	60.8%	61.3%	65.4%	+5.4P	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	インシデント	1,770件	2,043件	2,326件	2,533件	2,815件	2,990件	+1,220件	アクシデント	127件	153件	58件	57件	62件	54件	▲73件	総数	1,897件	2,196件	2,384件	2,590件	2,877件	3,044件	+1,147件			
項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (22-26)																																																											
種類数	304件	303件	305件	287件	305件	+1件																																																											
使用数	8,337件	8,363件	8,929件	9,045件	10,018件	+1,681件																																																											
適用率	60.0%	60.6%	60.8%	61.3%	65.4%	+5.4P																																																											
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																										
インシデント	1,770件	2,043件	2,326件	2,533件	2,815件	2,990件	+1,220件																																																										
アクシデント	127件	153件	58件	57件	62件	54件	▲73件																																																										
総数	1,897件	2,196件	2,384件	2,590件	2,877件	3,044件	+1,147件																																																										

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証					
		業務実績等	自己評価	論 点	検 証 (案)				
3-1-3	医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実など診療体制の整備・充実を図ること。	<p>* 診療体制の充実に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 診療体制の充実については、従来から患者の需要に的確に対応できる医療を目指しており、診療科の新設や組織改変を行うことで、チーム医療を推進し、各種定例に的確に応えられる体制としている。</p> <p>○ 診療部門・専門外来</p> <table border="1"> <tr> <td>新設</td> <td> <p>【診療科】</p> <p>H22：総合診療科、小児腎臓内科、不整脈科 H23：成人先天性心疾患診療科、母胎科、救急外科 (専門外来) 頭痛外来、小児肝・内分泌外来、緩和ケア外来、心臓リハビリテーション外来、脚外来 H24：脳卒中内科、脳卒中外科、内視鏡外科、成育医療科、高血圧科、頭頸部外科、病理診断連携科 H25：大腸外科、精神運動科、臨床栄養科 (専門外来) 遺伝診療外来 H26：膠原病科、脳血管内治療科、感染症内科</p> <p>【組織】</p> <p>H22：前立腺センター部、睡眠時無呼吸センター部、脊椎脊髄外科センター部 H23：院長代理、事務局次長、人事労務担当チーフ、高度先端医療センター、臨床研究部、診療情報支援部→医療クラーク室、臨床工学部、心臓カテーテル室、総合リハビリテーションセンター、外来部 H24：客員部長、新棟建設企画監→新棟建設担当、薬剤センター→薬剤総合管理部、病理センター、物流管理センター部 H25：院長補佐、自宅入院サポートセンター部、ワクチンセンター部、内視鏡台察部、呼吸器内視鏡部、ホスピタルクオリティセンター部、ハイブリッドセンター部、核医学診療センター、総合外来センター、専門外来部、専門ドック部、入院前検査センター、栄養センター、臨床栄養部、NST部、入院管理室</p> </td> </tr> <tr> <td>変更</td> <td> <p>【診療科】</p> <p>H22：総合内科→内科 H26：第一麻酔科・第二麻酔科・第三麻酔科→麻酔科(統合)</p> <p>【組織】</p> <p>H22：母と子供医療センター →小児医療センター・新生児医療センター・総合周産期母子医療センター H23：臨床研修センター部→研修人材センター部 H24：産科→産婦人科、婦人科→女性科、 研修人材センター部→研修センター部・人材センター部 H25：研修センター部→総合研修センター部</p> </td> </tr> </table>	新設	<p>【診療科】</p> <p>H22：総合診療科、小児腎臓内科、不整脈科 H23：成人先天性心疾患診療科、母胎科、救急外科 (専門外来) 頭痛外来、小児肝・内分泌外来、緩和ケア外来、心臓リハビリテーション外来、脚外来 H24：脳卒中内科、脳卒中外科、内視鏡外科、成育医療科、高血圧科、頭頸部外科、病理診断連携科 H25：大腸外科、精神運動科、臨床栄養科 (専門外来) 遺伝診療外来 H26：膠原病科、脳血管内治療科、感染症内科</p> <p>【組織】</p> <p>H22：前立腺センター部、睡眠時無呼吸センター部、脊椎脊髄外科センター部 H23：院長代理、事務局次長、人事労務担当チーフ、高度先端医療センター、臨床研究部、診療情報支援部→医療クラーク室、臨床工学部、心臓カテーテル室、総合リハビリテーションセンター、外来部 H24：客員部長、新棟建設企画監→新棟建設担当、薬剤センター→薬剤総合管理部、病理センター、物流管理センター部 H25：院長補佐、自宅入院サポートセンター部、ワクチンセンター部、内視鏡台察部、呼吸器内視鏡部、ホスピタルクオリティセンター部、ハイブリッドセンター部、核医学診療センター、総合外来センター、専門外来部、専門ドック部、入院前検査センター、栄養センター、臨床栄養部、NST部、入院管理室</p>	変更	<p>【診療科】</p> <p>H22：総合内科→内科 H26：第一麻酔科・第二麻酔科・第三麻酔科→麻酔科(統合)</p> <p>【組織】</p> <p>H22：母と子供医療センター →小児医療センター・新生児医療センター・総合周産期母子医療センター H23：臨床研修センター部→研修人材センター部 H24：産科→産婦人科、婦人科→女性科、 研修人材センター部→研修センター部・人材センター部 H25：研修センター部→総合研修センター部</p>	IV		患者にとっての分かりやすさにも配慮しながら、今後も医療課題に対応できる診療体制の整備・充実に取り組まれることを期待したい。
新設	<p>【診療科】</p> <p>H22：総合診療科、小児腎臓内科、不整脈科 H23：成人先天性心疾患診療科、母胎科、救急外科 (専門外来) 頭痛外来、小児肝・内分泌外来、緩和ケア外来、心臓リハビリテーション外来、脚外来 H24：脳卒中内科、脳卒中外科、内視鏡外科、成育医療科、高血圧科、頭頸部外科、病理診断連携科 H25：大腸外科、精神運動科、臨床栄養科 (専門外来) 遺伝診療外来 H26：膠原病科、脳血管内治療科、感染症内科</p> <p>【組織】</p> <p>H22：前立腺センター部、睡眠時無呼吸センター部、脊椎脊髄外科センター部 H23：院長代理、事務局次長、人事労務担当チーフ、高度先端医療センター、臨床研究部、診療情報支援部→医療クラーク室、臨床工学部、心臓カテーテル室、総合リハビリテーションセンター、外来部 H24：客員部長、新棟建設企画監→新棟建設担当、薬剤センター→薬剤総合管理部、病理センター、物流管理センター部 H25：院長補佐、自宅入院サポートセンター部、ワクチンセンター部、内視鏡台察部、呼吸器内視鏡部、ホスピタルクオリティセンター部、ハイブリッドセンター部、核医学診療センター、総合外来センター、専門外来部、専門ドック部、入院前検査センター、栄養センター、臨床栄養部、NST部、入院管理室</p>								
変更	<p>【診療科】</p> <p>H22：総合内科→内科 H26：第一麻酔科・第二麻酔科・第三麻酔科→麻酔科(統合)</p> <p>【組織】</p> <p>H22：母と子供医療センター →小児医療センター・新生児医療センター・総合周産期母子医療センター H23：臨床研修センター部→研修人材センター部 H24：産科→産婦人科、婦人科→女性科、 研修人材センター部→研修センター部・人材センター部 H25：研修センター部→総合研修センター部</p>								
3-1-5	高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県総合	<p>* 救命救急医療に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 岐阜地域における救命救急センターとして、精神科疾患を除くすべての救急疾患を対象に24時間体制で対応し、断らない医療を目指している。 救急外来は内科系、外科系、小児科系各1人で24時間体制の対応をしている。また、夜間(17:15～翌8:30)・休日は地域の医療機関と連携し、外科及び内科の医師の派</p>	IV		救命救急医療や心臓血管疾患医療など、重点医療として位置付けている医療は十分な体制で対応できていると評価できる。				

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																																																																																																
		業務実績等	自己評価	論点	検証(案)																																																																																																																																
	<p>医療センターとして重点的に実施すること。</p> <p>特に、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」、「女性とこども医療」を、岐阜県総合医療センターにおける重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。</p> <p>なお、こども医療については、救急医療体制の強化、高度・専門的な医療を必要とする重症心身障がい児の入所施設の整備など、拠点としての機能の一層の充実を図ること。</p>	<p>遣を受けるとともに当センター医師3名が診療している。</p> <p>特に第二次、第三次救急医療として重症・重篤症例や複数診療科にまたがる重症症例を受け入れ、救急医療の完結を目指している。そのため、臨床検査や放射線検査を常時可能とし、24時間呼び出し体制を取ることで、緊急手術も常時行える体制となっている。</p> <p>○ 病床利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数</td> <td>8,145人</td> <td>8,483人</td> <td>8,182人</td> <td>8,633人</td> <td>9,084人</td> <td>8,627人</td> <td>+482人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>74.4%</td> <td>77.5%</td> <td>74.5%</td> <td>78.8%</td> <td>83.0%</td> <td>78.8%</td> <td>4.4P</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 救急車受入台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>4,328件</td> <td>4,888件</td> <td>4,709件</td> <td>4,931件</td> <td>5,271件</td> <td>5,963件</td> <td>+1,635件</td> </tr> <tr> <td>同一日平均台数</td> <td>11.9台</td> <td>13.4台</td> <td>12.9台</td> <td>13.5台</td> <td>14.4台</td> <td>16.3台</td> <td>+4.4台</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 救急外来患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>8,774人</td> <td>8,763人</td> <td>8,936人</td> <td>10,230人</td> <td>8,241人</td> <td>8,678人</td> <td>▲96人</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>3,060人</td> <td>3,169人</td> <td>3,207人</td> <td>3,180人</td> <td>3,048人</td> <td>3,157人</td> <td>+97人</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>2,365人</td> <td>2,537人</td> <td>2,604人</td> <td>2,613人</td> <td>2,951人</td> <td>3,211人</td> <td>+846人</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>4,292人</td> <td>2,065人</td> <td>2,330人</td> <td>3,129人</td> <td>3,779人</td> <td>4,552人</td> <td>+260人</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>2,117人</td> <td>2,283人</td> <td>2,193人</td> <td>1,907人</td> <td>1,842人</td> <td>2,018人</td> <td>▲99人</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>1,838人</td> <td>2,092人</td> <td>1,885人</td> <td>1,905人</td> <td>1,790人</td> <td>1,880人</td> <td>+42人</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>826人</td> <td>1,549人</td> <td>1,665人</td> <td>1,503人</td> <td>1,470人</td> <td>1,447人</td> <td>+621人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,396人</td> <td>6,517人</td> <td>6,534人</td> <td>6,759人</td> <td>6,997人</td> <td>7,480人</td> <td>+2,084人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28,668人</td> <td>28,975人</td> <td>29,354人</td> <td>31,226人</td> <td>30,118人</td> <td>32,423人</td> <td>+3,755人</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 心臓血管疾患医療に関する事項 ☆ 業務実績等 心臓血管センターは、内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が共同で心臓血</p>	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	延入院患者数	8,145人	8,483人	8,182人	8,633人	9,084人	8,627人	+482人	病床利用率	74.4%	77.5%	74.5%	78.8%	83.0%	78.8%	4.4P	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	救急車受入件数	4,328件	4,888件	4,709件	4,931件	5,271件	5,963件	+1,635件	同一日平均台数	11.9台	13.4台	12.9台	13.5台	14.4台	16.3台	+4.4台	診療科	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	小児科	8,774人	8,763人	8,936人	10,230人	8,241人	8,678人	▲96人	消化器内科	3,060人	3,169人	3,207人	3,180人	3,048人	3,157人	+97人	整形外科	2,365人	2,537人	2,604人	2,613人	2,951人	3,211人	+846人	総合診療科	4,292人	2,065人	2,330人	3,129人	3,779人	4,552人	+260人	外科	2,117人	2,283人	2,193人	1,907人	1,842人	2,018人	▲99人	循環器内科	1,838人	2,092人	1,885人	1,905人	1,790人	1,880人	+42人	神経内科	826人	1,549人	1,665人	1,503人	1,470人	1,447人	+621人	その他	5,396人	6,517人	6,534人	6,759人	6,997人	7,480人	+2,084人	計	28,668人	28,975人	29,354人	31,226人	30,118人	32,423人	+3,755人			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																														
延入院患者数	8,145人	8,483人	8,182人	8,633人	9,084人	8,627人	+482人																																																																																																																														
病床利用率	74.4%	77.5%	74.5%	78.8%	83.0%	78.8%	4.4P																																																																																																																														
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																														
救急車受入件数	4,328件	4,888件	4,709件	4,931件	5,271件	5,963件	+1,635件																																																																																																																														
同一日平均台数	11.9台	13.4台	12.9台	13.5台	14.4台	16.3台	+4.4台																																																																																																																														
診療科	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																														
小児科	8,774人	8,763人	8,936人	10,230人	8,241人	8,678人	▲96人																																																																																																																														
消化器内科	3,060人	3,169人	3,207人	3,180人	3,048人	3,157人	+97人																																																																																																																														
整形外科	2,365人	2,537人	2,604人	2,613人	2,951人	3,211人	+846人																																																																																																																														
総合診療科	4,292人	2,065人	2,330人	3,129人	3,779人	4,552人	+260人																																																																																																																														
外科	2,117人	2,283人	2,193人	1,907人	1,842人	2,018人	▲99人																																																																																																																														
循環器内科	1,838人	2,092人	1,885人	1,905人	1,790人	1,880人	+42人																																																																																																																														
神経内科	826人	1,549人	1,665人	1,503人	1,470人	1,447人	+621人																																																																																																																														
その他	5,396人	6,517人	6,534人	6,759人	6,997人	7,480人	+2,084人																																																																																																																														
計	28,668人	28,975人	29,354人	31,226人	30,118人	32,423人	+3,755人																																																																																																																														

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																											
		業務実績等	自己評価	論 点	検 証 (案)																																																																																										
		<p>管系の疾患を治療する部門であり、県内でも初めての施設である。</p> <p>心臓血管系の病気は救命救急処置を要することが多く、循環器内科医師、心臓血管外科医師が24時間体制で対応し、カテーテル治療、外科的治療など患者にとって最適な治療を提供している。また、救命救急センター、心臓カテーテル室、手術室などは専用大型エレベーターで直結されており、患者の最短でスムーズな移動が確保されている。</p> <p>H25年度にハイブリッド手術室の整備が行われ、循環器内科と心臓血管外科による腹部・胸部ステントグラフト内挿術が大幅に増加している。</p> <p>○ 手術・検査件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>2,217件</td> <td>1,619件</td> <td>1,600件</td> <td>1,592件</td> </tr> <tr> <td>PCI(経皮的冠動脈形成術)</td> <td>438件</td> <td>460件</td> <td>443件</td> <td>471件</td> </tr> <tr> <td>Ablat(アブレーション)</td> <td>98件</td> <td>97件</td> <td>135件</td> <td>137件</td> </tr> <tr> <td>PMI(周術期心筋梗塞)</td> <td>60件</td> <td>52件</td> <td>57件</td> <td>60件</td> </tr> <tr> <td>CRT(心臓再同期療法)</td> <td>6件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>ICD(植込み型除細動器)</td> <td>19件</td> <td>15件</td> <td>15件</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>CRT-D(両室ペースキング機能付植込み型除細動器)</td> <td>9件</td> <td>3件</td> <td>5件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>EVAR(ステントグラフト内挿術)</td> <td>0件</td> <td>15件</td> <td>42件</td> <td>37件</td> </tr> <tr> <td>TEVAR(胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>7件</td> <td>11件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21→26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,544件</td> <td>1,406件</td> <td>▲811件</td> </tr> <tr> <td>PCI(経皮的冠動脈形成術)</td> <td>495件</td> <td>467件</td> <td>+29件</td> </tr> <tr> <td>Ablat(アブレーション)</td> <td>172件</td> <td>226件</td> <td>+128件</td> </tr> <tr> <td>PMI(周術期心筋梗塞)</td> <td>95件</td> <td>107件</td> <td>+47件</td> </tr> <tr> <td>CRT(心臓再同期療法)</td> <td>3件</td> <td>5件</td> <td>▲1件</td> </tr> <tr> <td>ICD(植込み型除細動器)</td> <td>25件</td> <td>21件</td> <td>+2件</td> </tr> <tr> <td>CRT-D(両室ペースキング機能付植込み型除細動器)</td> <td>8件</td> <td>4件</td> <td>▲5件</td> </tr> <tr> <td>EVAR(ステントグラフト内挿術)</td> <td>51件</td> <td>65件</td> <td>+65件</td> </tr> <tr> <td>TEVAR(胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)</td> <td>18件</td> <td>20件</td> <td>+20件</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 周産期医療に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合周産期母子医療センター <p>総合周産期母子医療センターでは、新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などを統合し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供しており、合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行っている。</p> <p>また、県内や県外の医療機関から、ヘリコプターや救急車による緊急母体搬送など</p>	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	心臓カテーテル	2,217件	1,619件	1,600件	1,592件	PCI(経皮的冠動脈形成術)	438件	460件	443件	471件	Ablat(アブレーション)	98件	97件	135件	137件	PMI(周術期心筋梗塞)	60件	52件	57件	60件	CRT(心臓再同期療法)	6件	1件	2件	3件	ICD(植込み型除細動器)	19件	15件	15件	23件	CRT-D(両室ペースキング機能付植込み型除細動器)	9件	3件	5件	8件	EVAR(ステントグラフト内挿術)	0件	15件	42件	37件	TEVAR(胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	0件	1件	7件	11件	項目	25年度	26年度	増減 (21→26)	心臓カテーテル	1,544件	1,406件	▲811件	PCI(経皮的冠動脈形成術)	495件	467件	+29件	Ablat(アブレーション)	172件	226件	+128件	PMI(周術期心筋梗塞)	95件	107件	+47件	CRT(心臓再同期療法)	3件	5件	▲1件	ICD(植込み型除細動器)	25件	21件	+2件	CRT-D(両室ペースキング機能付植込み型除細動器)	8件	4件	▲5件	EVAR(ステントグラフト内挿術)	51件	65件	+65件	TEVAR(胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	18件	20件	+20件			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度																																																																																											
心臓カテーテル	2,217件	1,619件	1,600件	1,592件																																																																																											
PCI(経皮的冠動脈形成術)	438件	460件	443件	471件																																																																																											
Ablat(アブレーション)	98件	97件	135件	137件																																																																																											
PMI(周術期心筋梗塞)	60件	52件	57件	60件																																																																																											
CRT(心臓再同期療法)	6件	1件	2件	3件																																																																																											
ICD(植込み型除細動器)	19件	15件	15件	23件																																																																																											
CRT-D(両室ペースキング機能付植込み型除細動器)	9件	3件	5件	8件																																																																																											
EVAR(ステントグラフト内挿術)	0件	15件	42件	37件																																																																																											
TEVAR(胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	0件	1件	7件	11件																																																																																											
項目	25年度	26年度	増減 (21→26)																																																																																												
心臓カテーテル	1,544件	1,406件	▲811件																																																																																												
PCI(経皮的冠動脈形成術)	495件	467件	+29件																																																																																												
Ablat(アブレーション)	172件	226件	+128件																																																																																												
PMI(周術期心筋梗塞)	95件	107件	+47件																																																																																												
CRT(心臓再同期療法)	3件	5件	▲1件																																																																																												
ICD(植込み型除細動器)	25件	21件	+2件																																																																																												
CRT-D(両室ペースキング機能付植込み型除細動器)	8件	4件	▲5件																																																																																												
EVAR(ステントグラフト内挿術)	51件	65件	+65件																																																																																												
TEVAR(胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	18件	20件	+20件																																																																																												

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																																																																																																																										
		業務実績等						自己評価	論 点	検 証 (案)																																																																																																																																																								
		<p>で紹介されてくるハイリスク妊婦を24時間体制で可能な限り受け入れ、産婦人科と新生児内科が連携をとりながら総合的なチーム医療を行っている。</p> <p>○ 分娩件数等の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td> <td>584件</td> <td>568件</td> <td>616件</td> <td>550件</td> <td>544件</td> <td>491件</td> <td>▲93件</td> </tr> <tr> <td>母体搬送受入件数</td> <td>111件</td> <td>122件</td> <td>170件 (4件)</td> <td>166件 (8件)</td> <td>127件 (7件)</td> <td>142件 (5件)</td> <td>+31件 (+5件)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送受入件数</td> <td>13件</td> <td>16件</td> <td>11件</td> <td>14件</td> <td>11件</td> <td>21件</td> <td>+8件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()数値はヘリコプター搬送</p> <p>○ 産科合併妊婦</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>146件</td> <td>129件</td> <td>145件</td> <td>111件</td> <td>115件</td> <td>112件</td> <td>▲34件</td> </tr> <tr> <td>PIH(妊婦高血圧症候群)</td> <td>28件</td> <td>35件</td> <td>49件</td> <td>60件</td> <td>44件</td> <td>48件</td> <td>+20件</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>11件</td> <td>7件</td> <td>2件</td> <td>5件</td> <td>9件</td> <td>8件</td> <td>▲3件</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>30件</td> <td>17件</td> <td>32件</td> <td>29件</td> <td>39件</td> <td>30件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>9件</td> <td>2件</td> <td>14件</td> <td>10件</td> <td>+9件</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>7件</td> <td>8件</td> <td>32件</td> <td>18件</td> <td>39件</td> <td>33件</td> <td>+26件</td> </tr> <tr> <td>IUGR(子宮内胎児発育不全)</td> <td>6件</td> <td>16件</td> <td>25件</td> <td>14件</td> <td>13件</td> <td>9件</td> <td>+3件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 産科偶発合併妊婦</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>16件</td> <td>22件</td> <td>36件</td> <td>28件</td> <td>38件</td> <td>13件</td> <td>▲3件</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>2件</td> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>23件</td> <td>21件</td> <td>+19件</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>6件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>▲4件</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>6件</td> <td>2件</td> <td>6件</td> <td>3件</td> <td>10件</td> <td>4件</td> <td>▲2件</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>23件</td> <td>12件</td> <td>28件</td> <td>20件</td> <td>+16件</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>2件</td> <td>11件</td> <td>17件</td> <td>12件</td> <td>26件</td> <td>12件</td> <td>+10件</td> </tr> </tbody> </table>						項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	分娩件数	584件	568件	616件	550件	544件	491件	▲93件	母体搬送受入件数	111件	122件	170件 (4件)	166件 (8件)	127件 (7件)	142件 (5件)	+31件 (+5件)	救急搬送受入件数	13件	16件	11件	14件	11件	21件	+8件	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	早産	146件	129件	145件	111件	115件	112件	▲34件	PIH(妊婦高血圧症候群)	28件	35件	49件	60件	44件	48件	+20件	常位胎盤・早期剥離	11件	7件	2件	5件	9件	8件	▲3件	胎盤位置異常	30件	17件	32件	29件	39件	30件	0件	羊水の異常	1件	0件	9件	2件	14件	10件	+9件	胎児異常	7件	8件	32件	18件	39件	33件	+26件	IUGR(子宮内胎児発育不全)	6件	16件	25件	14件	13件	9件	+3件	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	婦人科系疾患	16件	22件	36件	28件	38件	13件	▲3件	心・血管疾患	2件	6件	5件	5件	23件	21件	+19件	血液疾患	6件	0件	2件	2件	1件	2件	▲4件	腎疾患	6件	2件	6件	3件	10件	4件	▲2件	糖尿病・妊娠性糖尿病	4件	6件	23件	12件	28件	20件	+16件	甲状腺疾患	2件	11件	17件	12件	26件	12件	+10件			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																																																											
分娩件数	584件	568件	616件	550件	544件	491件	▲93件																																																																																																																																																											
母体搬送受入件数	111件	122件	170件 (4件)	166件 (8件)	127件 (7件)	142件 (5件)	+31件 (+5件)																																																																																																																																																											
救急搬送受入件数	13件	16件	11件	14件	11件	21件	+8件																																																																																																																																																											
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																																																											
早産	146件	129件	145件	111件	115件	112件	▲34件																																																																																																																																																											
PIH(妊婦高血圧症候群)	28件	35件	49件	60件	44件	48件	+20件																																																																																																																																																											
常位胎盤・早期剥離	11件	7件	2件	5件	9件	8件	▲3件																																																																																																																																																											
胎盤位置異常	30件	17件	32件	29件	39件	30件	0件																																																																																																																																																											
羊水の異常	1件	0件	9件	2件	14件	10件	+9件																																																																																																																																																											
胎児異常	7件	8件	32件	18件	39件	33件	+26件																																																																																																																																																											
IUGR(子宮内胎児発育不全)	6件	16件	25件	14件	13件	9件	+3件																																																																																																																																																											
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																																																											
婦人科系疾患	16件	22件	36件	28件	38件	13件	▲3件																																																																																																																																																											
心・血管疾患	2件	6件	5件	5件	23件	21件	+19件																																																																																																																																																											
血液疾患	6件	0件	2件	2件	1件	2件	▲4件																																																																																																																																																											
腎疾患	6件	2件	6件	3件	10件	4件	▲2件																																																																																																																																																											
糖尿病・妊娠性糖尿病	4件	6件	23件	12件	28件	20件	+16件																																																																																																																																																											
甲状腺疾患	2件	11件	17件	12件	26件	12件	+10件																																																																																																																																																											

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価							評価委員会の検証		
		業務実績等							自己評価	論 点	検 証 (案)
		自己免疫・膠原病	2件	0件	5件	4件	8件	4件	+2件		
		呼吸器疾患	0件	3件	22件	10件	31件	11件	+11件		
		消化器疾患	3件	2件	0件	3件	18件	4件	+1件		
		精神・神経系	0件	5件	11件	12件	33件	9件	+9件		
		運動機能系	0件	0件	1件	0件	3件	0件	0件		
		○ ハイリスク妊娠・分娩(対象者)									
		項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)		
		ハイリスク妊娠	64件	47件	66件	58件	77件	58件	▲6件		
		ハイリスク分娩	40件	17件	40件	34件	32件	21件	▲19件		
		☆ 業務実績等									
		<ul style="list-style-type: none"> 新生児医療センター <p>県内の新生児医療の中核となり、高度な医療設備のもとで、超低出生体重児の救命できる週数が年々低下してきており、在胎22週台の救命も可能となっている。</p> <p>また、新生児搬送救急車を整備し、県内の医療機関から在胎27週以前の母体搬送受入れを行っており、24時間体制で診療している。</p> <p>新生児の手術件数は年々増加傾向にあり、産婦人科や小児科等と連携をとりながら、総合的なチーム医療を行っている。</p> <p>平成25年度は、MRSA感染対策のため、約1ヶ月間新規受け入れを停止したことで、総入院患者数は前年度より減少している。</p> <p>しかし、平成26年度からNICUの改築工事を進めており、新生児に対するMRSA等の感染防止のため、院内感染対策に注力している。</p> 									
		○ 在胎27週以前の母体搬送及び超低出生体重児等の状況									
		項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)		
		母体搬送受入件数	80件	81件	110件	92件	82件	88件	+8件		
		超低出生体重児	27件	12件	25件	13件	15件	23件	▲4件		
		極低出生体重児	27件	33件	54件	23件	47件	45件	+18件		
		○ 新生児手術状況									
		項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)		
		小児心臓外科	4件	6件	8件	5件	8件	8件	+4件		
		小児脳神経外科	16件	5件	8件	5件	11件	6件	▲10件		
		小児外科	6件	13件	19件	31件	24件	18件	+12件		
		耳鼻科(気管切開)	1件	1件	1件	3件	3件	2件	+1件		
		* がん医療に関する事項									

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																									
		業務実績等	自己評価	論 点	検 証 (案)																																																																																								
		<p>☆ 業務実績等</p> <p>がん医療にかかるとする部門(緩和ケアチーム、がん相談支援センター、緩和ケア外来、化学療法室、がん登録室、その他各診療部門等)をまとめたがん医療センターとして、岐阜地域がん診療連携拠点病院の機能を充実し、チーム医療を行っている。</p> <p>毎月、がんカンファレンス又は病診連携緩和ケアカンファレンスを行い、地域の医療機関と連携して症例検討を実施している。</p> <p>平成 24 年度からは、がんの在宅患者及び入院患者、その患者家族の相談支援のために、「ほっとサロン」を開催し、がん患者や家族の交流の場として利用されている。</p> <p>○ がん患者及び治療実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,426人</td> <td>2,409人</td> <td>2,513人</td> <td>2,877人</td> <td>2,643人</td> <td>2,775人</td> <td>+349人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>49,997人</td> <td>54,574人</td> <td>61,128人</td> <td>64,278人</td> <td>70,659人</td> <td>70,787人</td> <td>+20,790人</td> </tr> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,173人</td> <td>1,269人</td> <td>1,285人</td> <td>1,382人 (2人)</td> <td>1,258人 (50人)</td> <td>1,356人 (78人)</td> <td>+183人 (+78人)</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法</td> <td>3,079人</td> <td>5,654人</td> <td>5,329人</td> <td>5,698人</td> <td>5,507人</td> <td>5,959人</td> <td>+2,880人</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>419人</td> <td>421人</td> <td>400人</td> <td>364人</td> <td>339人</td> <td>380人</td> <td>▲39人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () 数値は、ダ・ヴィンチによる手術</p> <p>○ がん相談件数とほっとサロン利用人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談件数</td> <td>951件</td> <td>1,130件</td> <td>1,402件</td> <td>1,514件</td> <td>1,138件</td> <td>1,438件</td> <td>+487件</td> </tr> <tr> <td>ほっとサロン利用人数</td> <td>—人</td> <td>—人</td> <td>150人</td> <td>599人</td> <td>1,009人</td> <td>1,290人</td> <td>+1,290人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ほっとサロンは、平成 23 年度に設置</p> <p>* 女性医療に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <p>当センターでは、8 階東病棟を「女性病棟」として、女性科、乳腺外科、外科、消化器内科の女性入院患者の治療にあたっている。</p> <p>診療体制は、各診療科の常勤女性医師が連携し、女性臨床心理士による心理カウンセリング等のサポート体制をとっている。</p> <p>女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようにプライバシーの保護や病室内の安らぎづくりに努めている。</p> <p>○ 女性患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 階東入院患者数</td> <td>1,214人</td> <td>1,247人</td> <td>1,287人</td> <td>1,319人</td> <td>1,352人</td> <td>1,392人</td> <td>+178人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	入院患者数	2,426人	2,409人	2,513人	2,877人	2,643人	2,775人	+349人	外来患者数	49,997人	54,574人	61,128人	64,278人	70,659人	70,787人	+20,790人	外科的治療	1,173人	1,269人	1,285人	1,382人 (2人)	1,258人 (50人)	1,356人 (78人)	+183人 (+78人)	がん化学療法	3,079人	5,654人	5,329人	5,698人	5,507人	5,959人	+2,880人	放射線治療	419人	421人	400人	364人	339人	380人	▲39人	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	がん相談件数	951件	1,130件	1,402件	1,514件	1,138件	1,438件	+487件	ほっとサロン利用人数	—人	—人	150人	599人	1,009人	1,290人	+1,290人	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	8 階東入院患者数	1,214人	1,247人	1,287人	1,319人	1,352人	1,392人	+178人			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																						
入院患者数	2,426人	2,409人	2,513人	2,877人	2,643人	2,775人	+349人																																																																																						
外来患者数	49,997人	54,574人	61,128人	64,278人	70,659人	70,787人	+20,790人																																																																																						
外科的治療	1,173人	1,269人	1,285人	1,382人 (2人)	1,258人 (50人)	1,356人 (78人)	+183人 (+78人)																																																																																						
がん化学療法	3,079人	5,654人	5,329人	5,698人	5,507人	5,959人	+2,880人																																																																																						
放射線治療	419人	421人	400人	364人	339人	380人	▲39人																																																																																						
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																						
がん相談件数	951件	1,130件	1,402件	1,514件	1,138件	1,438件	+487件																																																																																						
ほっとサロン利用人数	—人	—人	150人	599人	1,009人	1,290人	+1,290人																																																																																						
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																						
8 階東入院患者数	1,214人	1,247人	1,287人	1,319人	1,352人	1,392人	+178人																																																																																						

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																											
		業務実績等						自己評価	論点	検証(案)																																																									
		女性外来患者数	1,289 人	1,133 人	1,612 人	1,998 人	2,088 人	1,461 人	+172 人																																																										
		<p>* こども医療の救急医療体制の強化、重症心身障がい児の入所施設の整備に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 重症心身障がい児病棟は、平成25年9月から工事を着工し、平成27年12月までを工期として、着実に進行している。 また、医療型障害児入所施設を円滑に運営するため、先進施設の視察や医師派遣、看護師の研修会等への参加など、医療従事者の育成を図るとともに、介護福祉士や保育士等の職員の確保に努めている。 小児救急医療拠点病院として、病院群輪番制による第二次救急医療を行うとともに、重篤な小児患者を受け入れる第三次救急医療体制を整備するため、平成25年度にPICU(小児集中治療室)を2床整備し、平成26年度には4床へ増床し、医師及び看護師等の診療体制を充実している。</p> <p>○ こども医療の救急医療</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急外来患者数</td> <td>9,178 人</td> <td>9,138 人</td> <td>9,380 人</td> <td>10,694 人</td> <td>8,700 人</td> <td>9,126 人</td> <td>▲52 人</td> </tr> <tr> <td>救急入院患者数</td> <td>1,122 人</td> <td>1,072 人</td> <td>987 人</td> <td>1,324 人</td> <td>1,167 人</td> <td>1,210 人</td> <td>+88 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 小児科、小児循環器内科、小児心臓外科、新生児内科、小児腎臓内科を対象とする。</p> <p>○ PICU稼働状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベッド数</td> <td>0床</td> <td>0床</td> <td>0床</td> <td>0床</td> <td>2床</td> <td>4床</td> <td>+4床</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>114人</td> <td>126人</td> <td>+126人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>79.4%</td> <td>78.6%</td> <td>+78.6P</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成25年度は、6月からカウントし、平成26年度は、10月から4床でカウントしている。</p>								項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)	救急外来患者数	9,178 人	9,138 人	9,380 人	10,694 人	8,700 人	9,126 人	▲52 人	救急入院患者数	1,122 人	1,072 人	987 人	1,324 人	1,167 人	1,210 人	+88 人	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)	ベッド数	0床	0床	0床	0床	2床	4床	+4床	入院患者数	0人	0人	0人	0人	114人	126人	+126人	稼働率	0%	0%	0%	0%	79.4%	78.6%	+78.6P		
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)																																																												
救急外来患者数	9,178 人	9,138 人	9,380 人	10,694 人	8,700 人	9,126 人	▲52 人																																																												
救急入院患者数	1,122 人	1,072 人	987 人	1,324 人	1,167 人	1,210 人	+88 人																																																												
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)																																																												
ベッド数	0床	0床	0床	0床	2床	4床	+4床																																																												
入院患者数	0人	0人	0人	0人	114人	126人	+126人																																																												
稼働率	0%	0%	0%	0%	79.4%	78.6%	+78.6P																																																												
3-3-1	<p>専門医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行なうこと。</p> <p>岐阜大学医学部附属病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修</p>	<p>* 臨床研修医及びレジデントの受入れに関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 当センターは、基幹型臨床研修病院として初期臨床研修医を受け入れており、県内研修施設受入れ定数をほぼ満たした状態である。 また、NPO 法人卒後臨床研修評価機構認定病院として、県内で初めて認定を受けている。 当センターでは、「初期研修から後期研修を経て専門医」という一貫性のある研修システムにより、初期研修の2年間及び後期研修の最長4年間にて専門医の取得が可能となっている。</p>						III	<p>初期研修医のみならず、後期研修医も多数受け入れていることは評価できる。</p>																																																										

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																									
		業務実績等	自己評価	論点	検証(案)																																																								
	病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。	<p>○ 初期研修医及び後期研修医の受入数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期研修医(医師)</td> <td>30人</td> <td>25人</td> <td>29人</td> <td>33人</td> <td>31人</td> <td>31人</td> <td>+1人</td> </tr> <tr> <td>初期研修医(歯科医師)</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>▲2人</td> </tr> <tr> <td>後期研修医(医師)</td> <td>32人</td> <td>35人</td> <td>42人</td> <td>33人</td> <td>33人</td> <td>39人</td> <td>+7人</td> </tr> <tr> <td>後期研修医(歯科医師)</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 質の高い医療従事者の養成に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 医師の卒後臨床研修等の充実について、岐阜大学病院と連携を密にしなが、当院独自の研修プログラムを作成し、充実した研修を推進している。 また、定期的に国内の大学附属病院や先進病院への研修派遣に加え、海外の先進病院へも研修派遣を行い、高度な医療技術の習得を目指している。</p>	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)	初期研修医(医師)	30人	25人	29人	33人	31人	31人	+1人	初期研修医(歯科医師)	3人	2人	2人	2人	2人	1人	▲2人	後期研修医(医師)	32人	35人	42人	33人	33人	39人	+7人	後期研修医(歯科医師)	1人	1人	0人	0人	0人	1人	0人																			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)																																																						
初期研修医(医師)	30人	25人	29人	33人	31人	31人	+1人																																																						
初期研修医(歯科医師)	3人	2人	2人	2人	2人	1人	▲2人																																																						
後期研修医(医師)	32人	35人	42人	33人	33人	39人	+7人																																																						
後期研修医(歯科医師)	1人	1人	0人	0人	0人	1人	0人																																																						
3-4-1	<p>地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。</p> <p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を行うこと。</p> <p>代診医師の派遣や巡回診療等、県全体での広域的なへき地医療支援事業の企画・調整など、県におけるへき地医療対策を円滑かつ効率的に実施すること。</p>	<p>* 地域医療の確保に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 地域医療支援病院として、副院長等医師が地域医療機関を訪問した結果、開放型病院登録医療機関が平成21年度299施設から平成26年度396施設へ増加し、提携医療機関の登録プレートの設置を行い、地域の医療機関との連携を強化している。 また、総合周産期母子医療センターでは夜間・休日診療に周辺地域の開業医の協力を得ており、小児夜間急病センターでは各務原市医師会と連携し、小児夜間輪番において共同診療を実施している。 その他、CTやMRI、PET、遠隔画像診断危機等の高度先進医療機器の共同利用や共同診療の推進を行っている。</p> <p>○ 高度先進医療機器の共同利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>485件</td> <td>481件</td> <td>443件</td> <td>426件</td> <td>356件</td> <td>405件</td> <td>▲80件</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>311件</td> <td>337件</td> <td>345件</td> <td>323件</td> <td>389件</td> <td>367件</td> <td>+56件</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>87件</td> <td>78件</td> <td>66件</td> <td>65件</td> <td>47件</td> <td>50件</td> <td>▲37件</td> </tr> <tr> <td>遠隔画像診断機器</td> <td>174件</td> <td>173件</td> <td>197件</td> <td>374件</td> <td>533件</td> <td>216件</td> <td>+42件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 開放病床の利用状況及び共同利用回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)	CT	485件	481件	443件	426件	356件	405件	▲80件	MRI	311件	337件	345件	323件	389件	367件	+56件	PET	87件	78件	66件	65件	47件	50件	▲37件	遠隔画像診断機器	174件	173件	197件	374件	533件	216件	+42件	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)									IV		<p>今後も、へき地医療機関への積極的な人的支援を期待したい。</p>
機器名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)																																																						
CT	485件	481件	443件	426件	356件	405件	▲80件																																																						
MRI	311件	337件	345件	323件	389件	367件	+56件																																																						
PET	87件	78件	66件	65件	47件	50件	▲37件																																																						
遠隔画像診断機器	174件	173件	197件	374件	533件	216件	+42件																																																						
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)																																																						

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																																																																														
		業務実績等						自己評価	論点	検証(案)																																																																																																												
		<table border="1"> <tr> <td>共同指導 (月平均)</td> <td>15.8 回</td> <td>12.7 回</td> <td>14.5 回</td> <td>15.3 回</td> <td>12.6 回</td> <td>10.7 回</td> <td>▲5.1回</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>72.6 %</td> <td>75.1 %</td> <td>66.3 %</td> <td>49.4 %</td> <td>41.9 %</td> <td>41.4 %</td> <td>▲31.2P</td> </tr> </table> <p>* 人的支援に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県とのへき地医療支援機構運営委託契約による依頼を受けて、高山赤十字病院、県立下呂温泉病院、下呂市立金山病院、郡上市民病院等への人的支援を実施している。</p> <p>○ 他の医療機関への人的支援状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (22-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>399日</td> <td>461日</td> <td>548日</td> <td>591日</td> <td>604日</td> <td>+205日</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>447日</td> <td>244日</td> <td>504日</td> <td>288日</td> <td>11日</td> <td>▲436日</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>0日</td> <td>21日</td> <td>245日</td> <td>225日</td> <td>244日</td> <td>+244日</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>木沢記念病院</td> <td>28日</td> <td>224日</td> <td>0日</td> <td>244日</td> <td>0日</td> <td>▲28日</td> </tr> <tr> <td>東海中央病院</td> <td>94日</td> <td>0日</td> <td>62日</td> <td>0日</td> <td>0日</td> <td>▲94日</td> </tr> <tr> <td>東白川診療所</td> <td>0日</td> <td>9日</td> <td>0日</td> <td>24日</td> <td>0日</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所</td> <td>0日</td> <td>0日</td> <td>43日</td> <td>0日</td> <td>0日</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>坂内村国民健康保険診療所</td> <td>0日</td> <td>0日</td> <td>45日</td> <td>0日</td> <td>0日</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>0日</td> <td>0日</td> <td>31日</td> <td>73日</td> <td>109日</td> <td>+109日</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>0日</td> <td>0日</td> <td>25日</td> <td>54日</td> <td>0日</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>久美愛厚生病院</td> <td>0日</td> <td>0日</td> <td>0日</td> <td>14日</td> <td>24日</td> <td>+24日</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>980日</td> <td>971日</td> <td>1,515日</td> <td>1,525日</td> <td>1,004日</td> <td>+24日</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 県におけるへき地医療対策の実施に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 後期研修プログラムに一定期間の医師不足地域での勤務を含めることで、医師不足の解消を図る目的として、岐阜大学医学部、同附属病院及び県内9臨床研修指定病院とともに「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」を設立し、効果的なへき地域医療を行っている。</p>	共同指導 (月平均)	15.8 回	12.7 回	14.5 回	15.3 回	12.6 回	10.7 回	▲5.1回	病床利用率	72.6 %	75.1 %	66.3 %	49.4 %	41.9 %	41.4 %	▲31.2P	項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (22-26)	県立下呂温泉病院	399日	461日	548日	591日	604日	+205日	高山赤十字病院	447日	244日	504日	288日	11日	▲436日	揖斐厚生病院	0日	21日	245日	225日	244日	+244日	下呂市立金山病院	12日	12日	12日	12日	12日	0日	木沢記念病院	28日	224日	0日	244日	0日	▲28日	東海中央病院	94日	0日	62日	0日	0日	▲94日	東白川診療所	0日	9日	0日	24日	0日	0日	久々野診療所	0日	0日	43日	0日	0日	0日	坂内村国民健康保険診療所	0日	0日	45日	0日	0日	0日	郡上市民病院	0日	0日	31日	73日	109日	+109日	中濃厚生病院	0日	0日	25日	54日	0日	0日	久美愛厚生病院	0日	0日	0日	14日	24日	+24日	計	980日	971日	1,515日	1,525日	1,004日	+24日		
共同指導 (月平均)	15.8 回	12.7 回	14.5 回	15.3 回	12.6 回	10.7 回	▲5.1回																																																																																																															
病床利用率	72.6 %	75.1 %	66.3 %	49.4 %	41.9 %	41.4 %	▲31.2P																																																																																																															
項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (22-26)																																																																																																																
県立下呂温泉病院	399日	461日	548日	591日	604日	+205日																																																																																																																
高山赤十字病院	447日	244日	504日	288日	11日	▲436日																																																																																																																
揖斐厚生病院	0日	21日	245日	225日	244日	+244日																																																																																																																
下呂市立金山病院	12日	12日	12日	12日	12日	0日																																																																																																																
木沢記念病院	28日	224日	0日	244日	0日	▲28日																																																																																																																
東海中央病院	94日	0日	62日	0日	0日	▲94日																																																																																																																
東白川診療所	0日	9日	0日	24日	0日	0日																																																																																																																
久々野診療所	0日	0日	43日	0日	0日	0日																																																																																																																
坂内村国民健康保険診療所	0日	0日	45日	0日	0日	0日																																																																																																																
郡上市民病院	0日	0日	31日	73日	109日	+109日																																																																																																																
中濃厚生病院	0日	0日	25日	54日	0日	0日																																																																																																																
久美愛厚生病院	0日	0日	0日	14日	24日	+24日																																																																																																																
計	980日	971日	1,515日	1,525日	1,004日	+24日																																																																																																																
5-1	業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。	<p>* 経常収支比率に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 「中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を目指す」という中期計画については、3年目で目標を達成し、その後4年目、5年目も経常収支比率100%を達成することができた。</p> <p>○ 経常収支比率</p>	IV		平成24年度以降、経常収支比率が100%以上を維持していることは、高く評価できる。																																																																																																																	

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価								評価委員会の検証																																																										
		業務実績等								自己評価	論 点	検 証 (案)																																																								
		中期計画目標	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減(21-26)																																																											
		100%以上	93.0%	97.2%	98.8%	103.1%	103.2%	101.6%	+8.6P																																																											
6-1	<p>職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。</p> <p>さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かし、医療従事者を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。</p>	<p>* 職員の就労環境の整備に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <p>職員の就労環境の向上については、効果的な病院運営のため医師、看護師等各職種がその業務に専念でき、併せて時間外勤務を縮減するため、医療クラークや看護クラーク等業務補助体制を強化している。</p> <p>また、MSW等の専門職を雇用し、病院職員の勤務環境を改善するとともに、年次有給休暇等の取得を促進し、家庭環境に配慮した取組ができています。</p> <p>勤務実態にあわせて、4週単位から1月単位の変形労働時間制を採用し、医師やコメディカル等の職種において時間外勤務時間の縮減に取り組んでいる。</p> <p>○ 院内保育施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度末</th> <th>22年度末</th> <th>23年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所児童数</td> <td>34人</td> <td>36人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>対象児童年齢</td> <td>3歳未満</td> <td>3歳未満</td> <td>3歳未満</td> </tr> <tr> <td>開所曜日</td> <td>月～土曜 第1・3日曜</td> <td>月～土曜 第1・3日曜</td> <td>月～土曜 第1・3日曜</td> </tr> <tr> <td>通常保育時間</td> <td>7:45～ 19:00</td> <td>7:45～ 19:00</td> <td>7:45～ 19:00</td> </tr> <tr> <td>延長保育時間</td> <td>7:00～ 22:30</td> <td>7:00～ 22:30</td> <td>7:00～ 22:30</td> </tr> <tr> <td>24時間保育 保育士数</td> <td>— 8人</td> <td>— 8人</td> <td>— 8人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>24年度末</th> <th>25年度末</th> <th>26年度末</th> <th>増減(21→26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所児童数</td> <td>38人</td> <td>33人</td> <td>43人</td> <td>+9人</td> </tr> <tr> <td>対象児童年齢</td> <td>3歳未満</td> <td>3歳未満</td> <td>3歳未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>開所曜日</td> <td>月～土曜 第1・3日曜</td> <td>月～土曜 第1・3日曜</td> <td>月～土曜 第1・3日曜</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>通常保育時間</td> <td>7:45～ 19:00</td> <td>7:45～ 19:00</td> <td>7:45～ 19:00</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>延長保育時間</td> <td>7:00～ 22:30</td> <td>7:00～ 22:30</td> <td>7:00～ 22:30</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>24時間保育 保育士数</td> <td>第2・4金曜 10人</td> <td>第2・4金曜 10人</td> <td>第2・4金曜 9人</td> <td>— +1人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	21年度末	22年度末	23年度末	入所児童数	34人	36人	44人	対象児童年齢	3歳未満	3歳未満	3歳未満	開所曜日	月～土曜 第1・3日曜	月～土曜 第1・3日曜	月～土曜 第1・3日曜	通常保育時間	7:45～ 19:00	7:45～ 19:00	7:45～ 19:00	延長保育時間	7:00～ 22:30	7:00～ 22:30	7:00～ 22:30	24時間保育 保育士数	— 8人	— 8人	— 8人	項目	24年度末	25年度末	26年度末	増減(21→26)	入所児童数	38人	33人	43人	+9人	対象児童年齢	3歳未満	3歳未満	3歳未満	—	開所曜日	月～土曜 第1・3日曜	月～土曜 第1・3日曜	月～土曜 第1・3日曜	—	通常保育時間	7:45～ 19:00	7:45～ 19:00	7:45～ 19:00	—	延長保育時間	7:00～ 22:30	7:00～ 22:30	7:00～ 22:30	—	24時間保育 保育士数	第2・4金曜 10人	第2・4金曜 10人	第2・4金曜 9人	— +1人	IV		<p>第1期中期目標期間中に、24時間保育の取組みが始まったことは評価できる。</p>
項目	21年度末	22年度末	23年度末																																																																	
入所児童数	34人	36人	44人																																																																	
対象児童年齢	3歳未満	3歳未満	3歳未満																																																																	
開所曜日	月～土曜 第1・3日曜	月～土曜 第1・3日曜	月～土曜 第1・3日曜																																																																	
通常保育時間	7:45～ 19:00	7:45～ 19:00	7:45～ 19:00																																																																	
延長保育時間	7:00～ 22:30	7:00～ 22:30	7:00～ 22:30																																																																	
24時間保育 保育士数	— 8人	— 8人	— 8人																																																																	
項目	24年度末	25年度末	26年度末	増減(21→26)																																																																
入所児童数	38人	33人	43人	+9人																																																																
対象児童年齢	3歳未満	3歳未満	3歳未満	—																																																																
開所曜日	月～土曜 第1・3日曜	月～土曜 第1・3日曜	月～土曜 第1・3日曜	—																																																																
通常保育時間	7:45～ 19:00	7:45～ 19:00	7:45～ 19:00	—																																																																
延長保育時間	7:00～ 22:30	7:00～ 22:30	7:00～ 22:30	—																																																																
24時間保育 保育士数	第2・4金曜 10人	第2・4金曜 10人	第2・4金曜 9人	— +1人																																																																

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																									
		業務実績等	自己評価	論点	検証(案)																																																								
		<p>* 病院職員全体の勤務環境に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 健康管理については、一般定期健康診断や生活習慣病予防検診、人間ドック等の検診を実施するとともに、VDT 作業従事者に対する検診等、有害な業務に従事する職員に対して特殊健康診断を実施している。 また、産業医設置による健康相談や専任の臨床心理士による心の健康診断等の健康管理対策やメンタルヘルス対策を実施している。 職員の安心な勤務環境づくりとして、院内保育所の 24 時間保育を実施し、保育料を月額から日額へ改定する等、利便性を向上させるとともに、病児病後児保育施設の設置について、継続的に検討している。 職員が業務に対する高い意欲を持ち、能力を十分に発揮できる病院づくりのため学会や研修会等への参加について積極的に支援している。</p> <p>○ 医療職員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度末</th> <th>22年度末</th> <th>23年度末</th> <th>24年度末</th> <th>25年度末</th> <th>26年度末</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師</td> <td>131人</td> <td>138人</td> <td>145人</td> <td>149人</td> <td>152人</td> <td>161人</td> <td>+30人</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>+1人</td> </tr> <tr> <td>常勤助産師・看護師</td> <td>479人</td> <td>483人</td> <td>501人</td> <td>510人</td> <td>542人</td> <td>574人</td> <td>+95人</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>7人</td> <td>20人</td> <td>38人</td> <td>48人</td> <td>51人</td> <td>52人</td> <td>+45人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>5人</td> <td>16人</td> <td>26人</td> <td>26人</td> <td>28人</td> <td>30人</td> <td>+25人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減 (21-26)	常勤医師	131人	138人	145人	149人	152人	161人	+30人	常勤歯科医師	2人	4人	3人	3人	3人	3人	+1人	常勤助産師・看護師	479人	483人	501人	510人	542人	574人	+95人	常勤准看護師	0人	医療クラーク	7人	20人	38人	48人	51人	52人	+45人	看護クラーク	5人	16人	26人	26人	28人	30人	+25人									
項目	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減 (21-26)																																																						
常勤医師	131人	138人	145人	149人	152人	161人	+30人																																																						
常勤歯科医師	2人	4人	3人	3人	3人	3人	+1人																																																						
常勤助産師・看護師	479人	483人	501人	510人	542人	574人	+95人																																																						
常勤准看護師	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																						
医療クラーク	7人	20人	38人	48人	51人	52人	+45人																																																						
看護クラーク	5人	16人	26人	26人	28人	30人	+25人																																																						